

インターナショナル カレッジ③

■日時：2018年11月17日（土）

鹿児島に居ながらにして外国の文化を体験し、異文化を理解してもらうことを目的として実施する「インターナショナルカレッジ」。今年度の第3回目は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会に出場する南アフリカチームの事前合宿地が鹿児島市に決定したことを記念し、鹿児島市スポーツ課との共催で実施しました。



南アフリカ出身で県内在住 Nicole Ehlersさんと Ruani Visserさんを講師にお招きし、参加者20名と一緒に南アフリカで親しまれている料理作り（ボボティのサフランライス添えとトライフルの2皿）と文化紹介レクチャー、そして講師との交流を楽しみました。

南アフリカの料理&文化紹介講座

参加者の声

初めて南アフリカ出身の人と話しました。来秋9月に南アフリカチームが鹿児島市に来るのが楽しみです。



料理をしながら南アフリカのことをすべて楽しかったです。南アフリカには、実は11の言語があったり、世界遺産もたくさんあったりして、すてきな国だということがわかりました。機会があったらぜひ行ってみたいです。



桜島島内避難訓練への協力

■日時：2018年11月29日（木）

鹿児島市による桜島島内避難訓練が行われ、そのうち「ホテル・展望所における外国人観光客の避難対応訓練」に、在住外国人6名（ブラジル2名、中国・マレーシア・ペルー・オーストラリア各1名）の方に、「（日本語のわからない）外国人観光客役」として協力していただきました。

協力者のお一人、姚悦さん（中国出身）にお話を伺いました。



Q. 桜島島内訓練ではどのような訓練をしましたか？

桜島の観光スポットとして有名な有村岩展望所で観光をしている時に、避難しなければならない状況になったという想定で、最初、展望所に待っていました。まず、避難を指示する防災無線の放送が、日本語、中国語、英語、韓国語でありました。その後、私達がいた展望所に、敷地内にあるレストハウスの職員が来て、ヘルメットをつけるよう渡された後、避難を誘導する「多言語シート」を見せて、私達を安全なレストハウスに誘導してくださいました。次にバスが来て、消防の人がバスに乗るように誘導、その後、バスで避難港（有村港）に移動し、港からは遊漁船で、鹿児島市北埠頭まで避難させて下さいました。

Q. 訓練に参加した感想を教えてください。

一連の流れが「周密精到」だと感じました。私はこのような避難訓練に参加したのは初めてでしたので、外国人の対応も含めていろいろと考えて下さっているのだと感心しました。

私の出身地では、火山噴火だけでなく、地震や津波もないので、学校・地域などで避難訓練はありませんでした。また、現在の中国は、経済力は上がったものの、このような訓練のチャンスは、なかなかないのが現状です。命に関わる防災意識も薄いので、防災先進国である日本と比べたら、細かいところまで考えてくれる訓練は足りないと思います。



Q. 外国人の視点で、何かアドバイスをお願いします。

多言語での放送と「多言語シート」を活用した誘導・案内は良かったと思います。

私個人の意見としては、案内する内容をもう少し詳しく、「情報」と「安心」を加えたものになると良いのではないのでしょうか。観光客は、自分が知らない場所にいるわけですから、どこに、どうやって逃げればよいのか、全くわかりません。火山噴火の経験がある人も少ないので、怖いし、不安です。

例えば、放送の「直ちに避難してください」だけではなく、今回のように避難誘導して下さるのであれば、「これから安全な場所に案内するので安心して下さい」とすると、もっとわかりやすく、混乱が起りにくいと思います。もし、誘導する人が来ないのであれば、「〇〇に行ってください」など、土地勘のない、初めて桜島に来た人でもわかるような具体的な避難方法を教えてあげたら良いと思います。

国際交流探訪バスツアー

■日時：2018年12月9日（日）

今年の国際交流探訪バスツアーは、島津忠良（日新公）没後450周年を記念し、南さつま市加世田一帯を訪れました。日本人を含めた総勢89名の方々が参加してくださり、南さつま市加世田の歴史・文化に触れ、さまざまな体験活動やいろは歌かるた大会など大満喫した一日となりました！

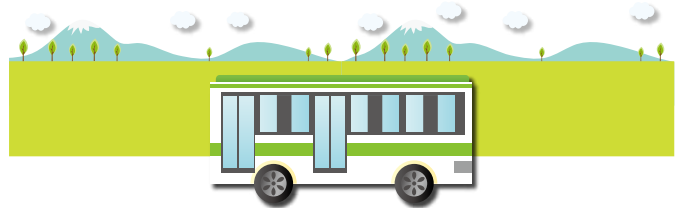
①加世田いにしへ歴史・文化巡り

島津日新公ゆかりの竹田神社、いにしへの道散策では、地元のガイドの方々による熱心な説明に皆さん興味津々。加世田麓街歩きでは、地元の方々のご協力により、普段見ることのできない武家屋敷の中での抹茶体験や、焼きもちなどのご提供、鍛冶体験など様々なおもてなしに心と体が温まりました。



②五感で楽しむ加世田

“砂の祭典”で有名な南さつま市。一度は見に行かれた方も多いのでは？今回は南さつま市の職員の方から作り方をレクチャーしていただき、参加者の皆さんは、一からミニ砂像作りに奮闘！テーマを決め、苦戦しながらも無事作りあげることができました。また、ウイスキー工場の見学では、ウイスキーが製造される工程を見たり、ウイスキー貯蔵庫を見たり、本坊家旧邸でウイスキーの試飲をしたりと、五感で楽しむ体験活動はどれもとても貴重な経験となりました。



③いろは歌かるた大会

島津日新公が編み出し、薩摩藩‘郷中教育’の礎となった“いろは歌かるた”。最後のメインイベントでは、日本人・外国人がチームに分かれて、いろは歌かるた大会を行いました。かるたの枚数が少なくなるにつれ、会場は参加者皆さんの集中力と笑顔に溢れ、日本人が有利だろうと予想していましたが、入賞者の内3人は外国人の方。そしてなんと優勝者に輝いたのはネパール出身のパニヤ・プラカシュさん！いろは歌かるた大会は大興奮の幕を閉じ、お互いの交流を深めることのできる素晴らしいものとなりました。



このバスツアーを大成功のうちに終わることができたのは、南さつま市役所の職員の方々をはじめ、地元の方々のご協力があったからこそでした。皆さんのおもてなしの心に参加者・スタッフ一同感激しております。

南さつま市にはまだまだ訪れることのできなかつた場所がたくさんあります。ぜひご家族やお友達を誘って訪れてみてはいかがでしょうか？

参加者の声

歴史、文化、自然など多くのことを学ぶことができ、とても楽しいバスツアーになりました。ありがとうございました。
(日本・10代)



今日は本当にすばしかったです。色んな経験ができました。あたらしい友だちもできました。おいしい昼食をたべたり、あそんだり、とても楽しかったです。バスもよかったです、みなさまやさしかった、しあわせです。また、次の時間があれば、行きたいと思います。



(インドネシア・30代)

第13回かごしまアジア青少年芸術祭

■日時：2018年10月20・21日（土・日）

平成30年度で第13回目を迎えた「かごしまアジア青少年芸術祭」。今年は10の国・地域から220名のアジアの皆さんが鹿児島を訪れました。1日目には、宝山ホールで「青少年音楽祭」が、2日目には中央公園を中心とする天文館地区にて「アジアンフェスタ」が開かれ、1万人を超える多くの方々を足で運んでいただきました。

毎年、アジア各地から多くの参加者が来鹿するアジアン・鹿児島。海外団体の中には、世界中を回りながら故郷の音楽を披露してきている人もいれば、今回がまったく初めての海外という人もいて、それぞれ違う背景を持っています。

今回は、そのようにアジアから来鹿した海外団体の皆さんは、実際どのように鹿児島で過ごしたのか聞いてみたいと思います！

ミンガラーパー（こんにちは）!

ミャンマーからアジアン・鹿児島に参加させてもらいました、フォスティナと申します。私たちはミャンマーの中央部に位置するマングレイ市のエーヤワディ・インタナショナルスクールの生徒で、今回は合わせて20名で鹿児島に来ました。日本はみんな初めてだったので、出発前から本当に楽しみにしていました!



Day 1&2

鹿児島に到着してから初めての行程は霧島神宮の観光でした。友達みんなでワイワイはしゃぎながら素敵な日本の伝統建築の前で写真を撮りっぱい撮りました。



次の日は鹿児島純心女子中学校で学校交流をしました。私たち

がミャンマーの伝統舞踊を日本の生徒たちに披露し、彼女たちは私たちのために歌を歌ってくれました。そのあと、私たちのために色々なゲームやレクリエーションを用意してくれたので、思いきり楽しく遊びました。最後には、本当に仲良くなって交流時間が短く感じました。

Day 3&4

待ちに待った本番日。先日、リハーサルを行ったものの、これだけ大きなホールでの公演は初めてだったので凄く緊張しました。でも、この日のために一所懸命に練習したダンスを多くの観客の前で披露することができました。これほど上手くできたのは初めてだったので嬉しかったです♪



2日目も商店街の中でパフォーマンスをしました。天気も良くて最高に気持ちよかったです。その日の夜は送別交流会がありました。アジアン・鹿児島に参加した海外の参加者同士で記念品を交換したり、連絡先を交わしたり、みんなで歌を歌ったりしながら盛り上がりましたね!

Day 5&6

鹿児島滞在の後半は、桜島など鹿児島の名所を巡ったり、ショッピングモールでお買い物をしたりしました。生活用品から薬・洋服まで、日本の品は大変人気があるので、友達の中には買い物リストまで作った子もいました。



ミャンマーに帰ってきた今も楽しかったあの時の思い出が夢のようです。このような素晴らしい時間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。鹿児島島の皆さんとまたいつかどこかでお会い出来たらと思います!

Pick up フォトジェニック アジアン・鹿児島



今年のアジアンでは青少年ボランティアを中心に、インスタグラム等のSNSに記事をアップしてくれました。海外団体もそこにつながってくれ、現地での練習風景などもアップし、ネット上でも国際交流が大きく広がりました。

※「アジアン鹿児島 インスタ」や「#アジアン鹿児島」等でインターネット検索すると、ボランティアのみなさんの投稿だけでなく、ダンスコンテスト参加者・屋台出店者・一般参加者・海外団体などのいきいきとした投稿を見ることができます。



みんなで真剣に会議



どんな記事にしようか?



かき氷のナイスショット!